



各都市代表者

第13回

ニューキャッスル・アライアンス会議 in ラトビア ～新城を担う若者が架け橋を築く～

問合せ ▶ 市民自治推進課(Tel.23-7697)

ホームページID 662129855

世界各地には「ニューキャッスル」というまちが100以上存在します。新城市が世界の「新城」に呼びかけ、第1回世界新城サミットを開催したのは1998年です。それから、市民参加も可能となり、「アライアンス会議」に発展していきました。

今回のニューキャッスル・アライアンス会議は、ラトビアのヤンピルスで開催され、高齢化、環境・自然、文化遺産、教育という4つのテーマでセッションが行われました。

START /

8/8

金

派遣団到着

23時間の長旅を経てヤンピルスに到着しました。リガ空港では、ヤンピルスのユースがお出迎えしてくれました。14世紀に建設されたヤンピルス城(新城城)が現存しており、城内部はホテルとして改装されています。市の派遣団は、この城ホテルに宿泊しました。



8/9
土

開会セレモニー

ラトビアの国会議員、
外務大臣をはじめ、
各都市の代表者が
挨拶をしました。



中世祭

1年に1度の中世祭が開催!各国の
伝統衣装などを着てパレードに参
加し、各都市を紹介するブースを
出展しました。本市のブースでは、
ユースが撮った写真のポストカード
に名前を漢字で書いてプレゼントし
たり、新城茶や和菓子の試食を提
供したりしました。



ユース会議

高齢化をテーマに、自
分の将来を想像しな
がら、どうしたら高齢
者が幸せな生活を送
れるかを考えました。



一般会議

環境・自然をテーマに、気候変
動が各都市にもたらす影響につ
いて共有・議論し合いました。ヤ
ンピルスからは、2年前の雹嵐に
より1千万ユーロ(当時のレート
で約16億円)もの被害を受けた
ことが報告されました。

8/11
月

市内企業訪問

ヤンピルスにある住宅
メーカー、バギー製造
会社、穀物農業会社、
乳製品加工会社を見
学しました。



8/10
日

一般会議

高齢化について各都市から事例
を発表した後、社会的孤立や参
画機会の少なさ、デジタル格差な
どの共通課題について議論しまし
た。代表者会議も行われ、共同声
明に記載するアライアンスの今後
の方針を話し合いました。



ユース会議

環境問題について自分の
意見を共有し、グループご
とにアクティビティを行いま
した。



ニューキャッスル・アライアンス会議
inラトビアの報告会と
ニューキャッスルの日イベント

当日は海外のニューキャッスルから
もユースが参加します。ぜひ交流しま
しょう!

日時▶11月8日(土)午前10時~正午

場所▶新城文化会館 展示室

●市内在住外国人による日本語ス
ピーチ

●ニューキャッスル・クイズ

●アライアンス会議についての
報告

●参加した感想
の発表

●会議の写真や
各都市からの
土産などの展示



ニューキャッスル展

アライアンス会議の写真や各都市
を紹介するパネル、図書などを展示
します。

期間▶10月21日(火)~11月14日(金)

場所▶市役所 1階情報力フェ



ユース会議

自分のまちの城について
発表し合い、すべての加盟
都市にとって幸せな理想の
「新しいNew Castle」を
テーマに議論しました。

8/12
火

一般会議

クルディーガ市議会議長、
国会議員、国立文化遺産
局の方なども出席し、アライ
アンス各都市に加え、ラトビ
アやクルディーガについての
事例も共有しました。



8/14
木

全体会議

今年度スイス・ヌシャテルと
新都市のユースが合同開催
した、平和を考えながら走る
イベントRace for Peaceに
ついて報告され、来年度はア
ライアンス全体で開催するこ
とが提案されました。

閉会セレモニー

共同声明への調印
や次回の会議開催
都市の発表などが
ありました。



一般会議

教育現場でのいじめや暴力、移
民の課題などについて各都市
の事例を共有しました。そ
の中で、各都市1人ずつ教員な
どから教育アンバサダーを選
び、教育について継続的に議論
していくことが提案されました。

8/13
水

首都リガ訪問

リガ城や旧市街
を案内してもらい
ました。

ユース会議

いじめや暴力について
議論が交わされ、グル
ープごとに設定した内
容について解決策を
考え発表しました。



共同声明(一部抜粋・要約)

- 個人、NGO、慈善団体のネットワーク「ニューキャッスル友の会」を設立します。
- ニューキャッスル週間を設け、各都市イベントを開催し、お祝いします。
- 教育アンバサダー制度を設立し、パートナープロジェクトを実施します。
- 2026年6月16日に各都市でRace for Peaceを開催します。
- 2027年の会議は、ドイツのノイブルグで開催します。



▲①～③の
申込フォーム

募集締切▶10月26日(日)

応募資格▶英検準1級もしくはTOEIC730点相当以上

③通訳ボランティア

募集締切▶10月26日(日)

参加対象▶高校生以上29歳以下の方(今年度30歳になった方を含む)

募集締切▶10月26日(日)

開催日時▶11月7日(金) 午後6時30分～午後9時

②ユース会議への参加

募集締切▶10月26日(日)

含む)

下の方(今年度30歳になった方を含む)

①若者バディ

応募資格▶市内在住または在学、在勤の方のうち、高校生以上29歳以下の方(今年度30歳になった方を含む)

募集締切▶10月26日(日)

②ユース会議への参加

募集締切▶10月26日(日)

参加者、通訳ボランティアを募集します。

11月5日(水)から11日(火)まで、海外のニューキャッスルからユースがやってきます。そこで、滞在期間中にアテン

ドしてくれる若者バディやユース会議参加者、通訳ボランティアを募集します。

協力してくれる人を募集します

ニューキャッスルの受入に
協力してくれる人を募集します

アライアンス会議に参加した7人の思い

今回の会議に参加したユース参加者7人に参加した感想を伺いました。市では今後、参加したユースと連携しアライアンス加盟国とのつながりを保ってまいります。



▲アライアンス会議に参加した各都市のユース代表

浅井 依音さん(高校生)



私は初めて海外へ行くこと、新城を代表して行くことから緊張していましたが、貴重な経験ができ、海外の同年代の友達ができ、嬉しかったです。新城と同じ意味を持つ場所へ行ったことで、場所は離れていても世界の都市が繋がっていることを実感し、言語の壁を越えて楽しみを共有することができました。

また、日本との交通事情や生活様式の違いに驚きました。ヤンピルスの畑では小麦が栽培され、降水量の少ない気候だからできるともきれいな景色でした。

ヨーロッパは、陸続きで違う国の人と話す機会が多い一方、日本は島国で英語を使う機会が少なく、今後もっと英語を話す機会を増やす必要を感じました。

この派遣を通して海外にさらに興味を持つことができ、進路選択にも役立つとても良い経験でした。これからもニューキャッスルのために自分ができることをしていきたいと思いました。

影山 夕夏さん(高校生)



私は、日本の良さや海外の国の良さ、共通点や相違点を知りたいと思い参加しました。

ラトビアは針葉樹が多く、日本の森林と比べて凛として落ち着きがあるように感じました。しかし、自然を美しいと感じる気持ちは同じでした。食文化については、チーズの種類・量がとても多く、デザートとしても食べる習慣に驚きました。また、参加者の多くが英語を流暢に話しており、日本での英語を話す機会の少なさを感じました。だからこそ、私たちは自分から積極的に英語を使う場面に身を投じる必要があると思いました。

そして、改めて気づいた日本の良さは礼儀の正しさです。食事の際に「いただきます」と手を合わせる習慣は、海外の人にユニークで好評でした。互いの良さを知り、課題点やその解決方法の手がかりを見つけることで、よりよい社会に一步近づくことができているのではないのでしょうか。

川合 春花さん(大学生)



印象に残ったことは、各国のユースが自信を持って母国語のように英語を使い、外国のユースとコミュニケーションをとっていたことです。この自信の背景には、発表の時に先生や周りの人が意見を否定しなかったからではないかと考察しました。私は自分の意見を相手に堂々と伝えることが苦手です。しかし、今回の会議でユースの発言力を見て、私ももっと自由に思ったことを話せばいいのだと学びを得ることができました。

また、日本や新城の良さにも気づきました。より新城のことが好きになり、日本文化にも今まで以上の関心を持つようになりました。

初めは緊張して他国のユースと話す勇気がなかったけれど、話してみると優しく、今までにない特別な時間を過ごすことができました。実際に英語能力が足りないことで悔しい思いをしたこともありましたが、しかし、それ以上に相手に伝えるという気持ちが必要だと気づくことができました。

瀬川 結さん(大学生)



ラトビアでの10日間で異なる文化を持つユースと交流する中で気づいたことが3つあります。

1つ目は、ユース達の会議に向き合う姿勢です。英語を母国語としない若者が積極的に意見を伝える姿に刺激を受け、文法や発音のミスなど気にせずに自分の意見を主張することが最も重要なことだと学びました。

2つ目は、言葉の選び方です。お菓子をもたらした際に「こんなにたくさんごめんね」と伝えると、「ありがとうでいいんだよ」と言われ、ハッとしました。感謝の気持ちを伝えなかったはずなのに、「ごめんね」という日本語を saying "Sorry" と直訳していたのです。日本語でつい考えてしまいがちですが、状況に合った表現を選ぶことが大切だと気付きました。

3つ目は、宗教との関わりです。友人が宗教上の理由で天然石のネックレスを身に付けられないと知り、アクセサリーを選ぶ際にも宗教の決まり事が関わっていることは目から鱗でした。異なる文化や価値観の違いを肌で感じる事ができました。

続木 日葵さん(高校生)



初めての海外で楽しみと不安がありました。現地の皆さんや各国のユースの温かい受け入れですぐに緊張がほぐれました。文化の違いや英語力の差に驚き、他国の若者の素直な表現や積極的な姿勢は尊敬できるものでした。また、国籍や年齢を超え、言葉がなくても心を通わせられる「ダンス」の力を実感しました。

自分の中で変わったことは、伝えたいことを言えなかった悔しさから、「英語をもっと勉強したい」という気持ちが強くなったことです。同時に、「もっと自分を表現していこう、失敗を恐れずに挑戦しよう」と感じました。また、新しい価値観に出会えたからこそ自分の住む日本や新城の魅力を再確認でき、地元愛が強くなったと思います。

普通に海外に行くだけでは得られない学びと気付きと出会いがありました。これらを、これからの自分の生活に生かし、新城の国際的な発展にも繋げていきたいです。

横山 美波さん(高校生)



私は、将来看護師になって世界中で1人でも多くの人を救うという目標を持って、高校では英語と看護の2つの勉強を頑張っています。英語のアウトプットの機会が少なく、自分の英語に自信がありませんでしたが、「あなたと話した子どもたちが日本に行きたいと言っているよ!」という言葉をかけてもらいとても勇気が出ました。たくさんの方と話すことができ、自分に自信をもらえてとても嬉しかったです。

海外の方は、分からなくても喋ろう、理解しようと真剣に聞いてくれる姿が日本人の良いところだと感じてくれました。海外に出てこそ感じられることだと思いました。英語力を高められ、たくさんの方の文化に触れることができたのはもちろん、勇気と自信をもらえ、とても成長できたと感じられた旅でした。これからもニューキャッスルの活動を通して偏見なく、お互いを認め合う人が1人でも増えてくれれば嬉しいなと思いました。

渡邊 里奈さん(社会人)



一番印象に残っているのは、何事も前向きに考え行動する友人の姿です。自分自身も前向きに物事を考えられるようになり、彼らと一緒にいた時間が私の人生の選択が間違いないものだ証明してくれました。

他国の若者からは、自国の文化についての知識が豊富で、自分や自国を決して見下さない姿勢を学びました。自信をもつために、自分や自国について知り、その事実を誇りをもって伝えることが大切だと学びました。

また、今回友人が「日本人は人の邪魔をしないように気を使っているね。すごくシャイだけど、それが好き。」と教えてくれました。日本人の他者を尊重する心は、恥ずかしがらず誇りをもってアピールすべきことだと感じました。

今回の会議で、10代の参加者が意欲的に意見を言う姿を見て、未来のNewcastleは明るいなと感じました。これからも自分の強みを生かしてNewcastles of the Worldに貢献していきたいです。

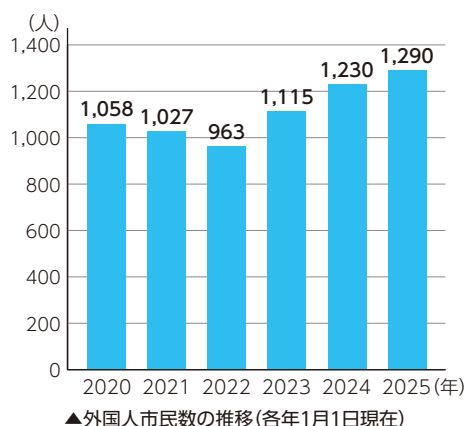
「やさしい日本語」 を使おう！

ひと工夫で、伝わるが増える！

問合せ ▶ 市民自治推進課(Tel 23-7697)

「やさしい日本語」とは、小さな子ども、高齢者、そして日本語が分からない外国の方でも分かりやすいように工夫された「日本語」のことです。分かりやすい言葉や表現を使うことで、情報が多くの人に届くようになります。やさしい日本語は、日常生活でもとても役立ちます。たとえば、学校や職場の説明で使ったり、地域の人との会話で使ったりできます。

みんなが安心して暮らせる社会をつくるために、一緒にやさしい日本語を広げていきましょう。



本市には現在1,290人の外国人市民がおり、年々増えています。外国人市民の中には、日本語をまだ上手に話したり、読んだりできない人もいます。例えば、学校、病院、地域などで大きなことを説明されると、話の内容を理解できないことがあります。その結果、必要な手続きやサービスを受けることができなかったり、ルールを破ってしまったりする場合があります。

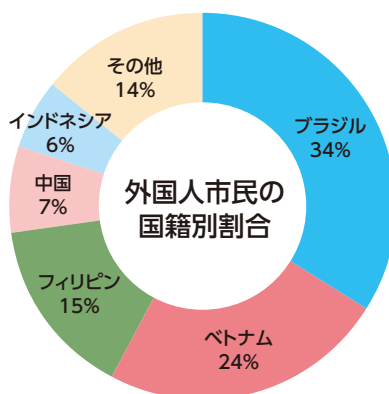
災害が起きたときの避難案内、イベントのお知らせ、ゴミの捨て方など、私たちの暮らしには多くの情報があふれています。これらの情報が誰にでも分かりやすいかたちで伝えることができれば、もっと安心して暮らせるようになります。

なぜやさしい日本語が必要なの？

「やさしい日本語」に正解はない

「やさしい日本語」は、外国人だけでなく、子どもや高齢者、障害のある方など、誰でも理解できる言葉です。正解はありません。

少し工夫するだけで、誰かの「分からない」が「分かった」に変わるかもしれません。



外国人に一番伝わる言葉は英語だと思っている方も多いのではないのでしょうか。しかし、本市に住む外国人市民の多くは英語圏ではない国の方です。英語は分からないけれど、やさしい日本語なら分かるという方も多くいらっしゃいます。

外国人市民に一番伝わるのは「やさしい日本語」！

新城市で暮らすために
必要な情報を紹介しています

やさしい日本語



English



Tiếng Việt



Tagalog



Português



中文



日本語ボランティア募集中！

やさしい日本語で外国人市民に日本語を教えてみませんか。資格不問。英語などを話せなくても問題ありません。見学も大歓迎です。

申込 ▶ 新城市国際交流協会 (TEL 23-1940)

●日本語教室

日にち ▶ 毎週水曜日

時間 ▶ 19:30 ~ 20:50

場所 ▶ まちなみ情報センター 2 階

●はじめての日本語教室

日にち ▶ 11月15日(土) ~ 2月7日(土)の
毎週土曜日 (10回)

時間 ▶ 10:00 ~ 11:30

場所 ▶ まちなみ情報センター 2 階



やさしい日本語にチャレンジ！

避難所

大雨や地震のときに
逃げる場所



簡単な言葉に言い換えます。

なるべく
早く教えてね

明日までに教えてね



「いつ」を明確に伝えます。

あと少しで
着くよ

あと5分で着くよ



あいまいな表現はしません。

召し上がって
ください

食べてください



難しい敬語や複雑な言い回しは使いません。



これもチェック！

- ・短い文にする
- ・絵やジェスチャーをつける
- ・漢字やカタカナに「ふりがな」をつける

11月「あいち多文化共生月間」です



多文化共生に関する理解の促進や、外国人市民と日本人市民の交流の促進に向けて、啓発活動を集行的に行っています。

◀ 愛知県多文化共生シンボルマーク

やさしい日本語の手引き

愛知県では、「やさしい日本語」を広めるために、楽しく気軽に学べる「やさしい日本語」の手引きを作成しました。



▲詳しくはこちら